

# それぞれの部活動が1つの目標に向かって

## 稲高新聞

編集

稲葉学園  
高校  
新聞部

総合開会式  
←堂々と行進する選手たち

### 汗と涙の向こうに見えた景色 仲間と築いた絆

## 大分県高校総体

暖かい春が過ぎ、桜の木が緑に変わり夏が近づいてきました。それぞれの部活動に新入部員が加入し、新チームになって活動が始まって一カ月程たちました。

「全国高等学校総合体育大会大分県予選」が終了しました。各部活、全力を出し切り、勝利に向かって戦い抜きました。本号では、その結果をお知らせさせていただきます。

## 記録よりも記憶に残る一戦に

### 仲間とつかんだ一勝

バドミントン部の団体部門が数年ぶりの勝利をつかみました。また、新村選手が、シングルスで一勝を勝ち取ってくれました。

しかし、バドミントン部全員で団結し、目標に向かって、頑張ってくれました。



他の選手は、全力を出し切りましたが惜しくも勝つ事が出来ませんでした。



## サッカー部 殊勲の一点

### 選手インタビュー

大分県高校総体女子サッカー決勝戦（大分スポーツ公園サッカーグラブ）が六月二日に開催されました。

前半三分、柳ヶ浦が左からのコーナーキックに合わせて先制。しかし、わずか三分後、稲葉学園、奥村滯選手の鮮やかなゴールで同点に追いついたが、その三分後、柳ヶ浦のロン

グシュートが突き刺さり二点目、その勢いのまま後半にミスにつけいられ、ダメ押しの三点目を献上。奮闘むなしく1-3で惜敗を喫しました。

しかし、柳ヶ浦高校から得点を記録し、歴史を動かしたゲームと言えるのではないだろうか。今後のサッカー部の健闘に期待が高まります。

### 攻めの姿勢で貫いた三年

月一日には、女子個人が行われ、本校渡部選手が宇佐高校の選手と対戦。胴ありで一本をとって守り切り、一回戦を突破

しました。その後、佐伯鶴城の選手に惜しくも敗戦しましたが、両選手とも、手に汗握る好勝負を繰り広げました。

高校総体剣道競技に三年生の二名が出場しました。男子個人は五月三十一日に行われ、本校森選手が佐伯鶴城

の選手と対戦し、一進一退の攻防を繰り広げましたが、相手に一本を守り切れられ、勝つことはできませんでした。また、六

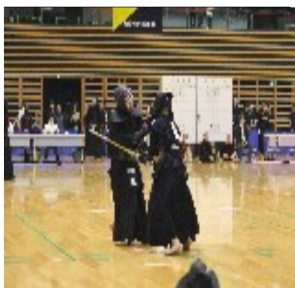
「奥村滯のゴール後のチーム」



「相手が強い選手で、勝ちたかったです。悔しいですが、全力を尽くせてよかったです。」

### 編集後記

新聞部三年、天沼圭史です。高校総体の熱戦の雰囲気を感じてもお届けできたら嬉しいと思います。今回から新聞作りにも携わらせていただくことになりました。一年張口若菜です。今後とも学校行事等の新聞をお送りできるよう頑張ります。



「熱戦を繰り広げる森選手」